



ひがしっ子

学校通信 第22号
令和4年2月18日(金)
久留米市立東国分小学校
校長 秀島 一生
児童数 640名

まん延防止等重点措置延長 短縮授業3月6日まで

立春を過ぎ、春が近づいてくるはずが、寒い日が続いています。しかし、校庭の桜は、たくさんのつぼみを付けており、春の準備を見つけました。子どもたちは、短縮授業のため、昼休みがないせいか、元気で朝から外で元気に走り回っています。中には、半袖で遊んでいる子どももいて、頼もしさを感じています。



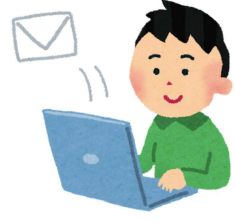
中休みに遊ぶ子どもたち

1月27日から出されたまん延防止等重点措置により、1月31日から2月20日まで短縮授業となっております。そのため、授業参観や社会見学も中止となり、残念に思われている保護者の方々も多いかと思えます。

さらに、福岡県のまん延防止等重点措置の延長により、久留米市立小学校での短縮授業も3月6日までとなりました。感染拡大防止対策の継続が求められ、教育活動の制限も継続していきます。グループ学習やリコーダー、鍵盤ハーモニカ等の制限を設けたり、「マスク、手洗い、静かに食事」の徹底を図ったりして、子どもたちが健康で安全に過ごせるよう取り組んでいるところです。

まん延防止等重点措置の延長により、3月の行事にも影響が出てくると思われまます。3月は、6年生を送る会や卒業式に向けての準備や練習に忙しい時期ではありますが感染拡大防止対策をていねいに行いながら、準備や練習を進めていこうと考えています。

久留米市の感染拡大の状況により、学級閉鎖や自宅待機による出席停止など対応の仕方が変更になったり、保護者へのお知らせの仕方が、安心・安全メールになったりと戸惑われることもあるかと思いますが、どうぞ、ご理解、ご協力をお願いいたします。



学年のまとめ 「学び直し」と「学びの定着」

早いもので、3学期もあと1ヶ月あまりとなりました。短縮授業により、40分授業の5時間という慌ただしい授業が進んでいますが、学年のまとめとしての学び直しや学びの定着を進めています。



今の状況での学習の進め方としては、午前の学校での授業は、考える場面の授業や「学び直し」を中心に行い、午後からの家庭での学習は、復習やドリルなどの「学びの定着」を中心とした内容を行うようにしています。

学校でしかできない対面での発表や体験活動などと、家庭でもできるドリルやプリント、オンライン学習など、学習の場のよさを生かした学びができるよう工夫しています。



みんなの前で発表

ご家庭での学習の様子はいかがでしょうか。3年生以上は、オンラインによる学習でも進めています。画面越しですが、先生の話聞いて、学習に取り組んでいる様子もありますが、なかなか集中できない様子も見受けられます。ぜひ、ご家庭での話題にしてみてください。

電話連絡のご協力をお願いします。

久留米市内の感染拡大状況もなかなか収まりを見せません。ご心配も多いかと思えます。検査体制の逼迫から学校での集団検査もなくなり、各個人での検査となっています。そのため、学校でも子どもたちの欠席の状況がつかみにくい状況にあります。

そこで、お願いです。もし、検査を受けることになった場合、必ず、学校の方にご連絡いただきますようお願いいたします。病院や保健所から、いつまで出席停止になるのかなど、どのような指示が出ているのかの把握が必要になります。その指示内容により、学級閉鎖等の対応が決まってくるからです。



学校電話 0942-21-9418(平日 7:30~18:00)
東国分小感染症専用ダイヤル 070-1567-4216
(平日 18:00~20:00 土日祝 9:00~20:00)
検査を受けることになっていただいても、保護者のみなさまは、心配で落ち着いた対応が難しいと思いますが、学校への連絡をお願いいたします。